

「SEC道後バーチャルキャンパス」を開講 《愛媛大学から四国4県の3大学・3高専へライブ配信》

四国総合通信局(局長 吉武 久(よしたけ ひさし))は、平成30年3月1日(木)、3月2日(金)の2日間、サイバーセキュリティシンポジウム道後実行委員会、愛媛大学、徳島大学、香川大学、高知工科大学、香川高等専門学校、弓削商船高等専門学校、高知工業高等専門学校とともに、「SEC道後バーチャルキャンパス」を開講、130名の学生・教職員が参加しました。

「SEC道後バーチャルキャンパス」は、愛媛大学城北キャンパスで両日に開催した全国のサイバーセキュリティ分野の専門家が一堂に会したサイバーセキュリティシンポジウム道後2018(以下、「SEC道後2018」という。)での講演やパネルディスカッション、学生研究発表会の模様をリアルタイムで配信しました。

配信先となった四国4県の3大学・3高専(徳島大学、香川大学、高知工科大学、香川高等専門学校、弓削商船高等専門学校、高知工業高等専門学校)では、「SEC道後2018」会場の愛媛大学から「学術情報ネットワーク(SINET5)※」で繋がった回線を利用して、サイバーセキュリティ分野の第一人者や専門家が行う講演等を学内に居ながらにして聴講することができました。

参加者からは、「講演等は大変参考になった」「遠隔地での参加でしたが是非現地に参加したくなるほどシンポジウムの魅力が伝わった」「伝送クオリティは非常に高かった」などの感想が寄せられました。

四国総合通信局では、今後も、地域の関係団体と協働し、SEC道後バーチャルキャンパスを含めてセキュリティに関する意識やレベルの向上につながる取組を実施し、広くICT(情報通信技術)が社会全般に普及する中でのサイバーセキュリティの向上と安心・安全な利活用を推進します。



SEC道後メイン会場



バーチャルキャンパス会場
(高知高専の様子)

※学術情報ネットワーク(Science Information NETWORK5)は、日本全国の大学、研究機関等の学術情報基盤として、国立情報学研究所(NII)が構築、運用している情報通信ネットワークです。国内の大学、研究機関等に対して先進的なネットワークを提供するとともに、多くの海外研究ネットワークとも相互接続しています。

(学術情報ネットワークSINETのHP: <https://www.sinet.ad.jp/>)

主な配信プログラム

3月1日 (木)	タイトル: IoTセキュリティ総合対策について 講師: 谷脇 康彦氏(総務省政策統括官 情報セキュリティ担当)
	タイトル: 「そのサービスとめっちゃっていいんですか?」 ～機密性、完全性、可用性のバランス～ 講師: 佐藤 公信氏(国立研究開発法人情報通信研究機構 ナショナルサイバートレーニングセンター主任研究員)
3月2日 (金)	フジテック友岡CIO × ラック社長西本 対談in道後 テーマ: 「IoTプラットフォームが考えるセキュリティ 経営目線でのセキュリティアプローチとは ～セキュリティを言い訳に事業機会を失っていませんか?～」 講師: 友岡 賢二氏(フジテック株式会社常務執行役員 情報システム部長) 西本 逸郎氏(株式会社ラック代表取締役社長 兼 執行役員社長 CTO)
	SEC道後2018学生研究賞受賞研究発表会 最優秀学生研究賞表彰式
	タイトル: 「Society5.0時代のセキュリティ」 講師: 園田 道夫氏(国立研究開発法人情報通信研究機構 ナショナルサイバートレーニングセンター センター長)
	パネルディスカッション: 「セキュリティと世界の在り方」 コーディネーター: 佐藤 公信氏(国立研究開発法人情報通信研究機構 ナショナルサイバートレーニングセンター主任研究員) パネリスト: 竹迫 良範氏(SECCON実行委員長) 若林 恵氏(元『WIRED』日本版編集長) 山口 功作氏(駐日エストニア大使館 EAS日本支局長)
	SEC道後2018学生研究賞受賞研究発表会 最優秀学生研究賞表彰式

SEC道後バーチャルキャンパス開講イメージ



【お問い合わせ先】 情報通信部 電気通信事業課 089-936-5041